



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月12日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	1,572	△28.8	△222	—	△268	—	△226	—
29年5月期第3四半期	2,207	△10.2	△67	—	△112	—	△100	—

(注)包括利益 30年5月期第3四半期 △223百万円 (—%) 29年5月期第3四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	△36.20	—
29年5月期第3四半期	△17.20	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	5,314	1,935	35.9	298.62
29年5月期	6,432	2,010	31.2	330.56

(参考)自己資本 30年5月期第3四半期 1,906百万円 29年5月期 2,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	7.20	7.20
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	7.20	7.20

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,050	△42.9	△150	—	△220	—	△230	—	△36.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年4月12日)公表いたしました「平成30年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期3Q	7,235,900 株	29年5月期	6,926,900 株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	852,800 株	29年5月期	862,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期3Q	6,253,308 株	29年5月期3Q	5,862,583 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成30年2月28日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、英国のEU離脱問題をはじめとする海外の政治や金融資本市場における不確実性の影響、また世界的な地政学リスクの影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、オークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、エネルギー関連事業では低圧型太陽光発電施設販売事業に引き続き集中して取り組み、新たな事業開始のための準備を進め、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

各事業の業績は次のとおりです。

①オークション関連事業

当第3四半期連結累計期間は、取扱高2,554,333千円（前年同期比35.7%増）、売上高988,987千円（前年同期比79.3%増）、セグメント損失60,500千円（前年同期は154,337千円のセグメント損失）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種別	第29期第3四半期連結累計期間							
	自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	983,915	12.4	198,977	0.6	4	468	380	81.2
近代陶芸オークション	254,190	△3.5	49,420	△6.6	3	540	517	95.7
近代美術PartⅡオークション	176,440	17.6	42,397	18.6	4	1,037	934	90.1
その他オークション	511,722	36.5	104,252	22.0	7	2,789	1,886	67.6
オークション事業合計	1,926,267	15.8	395,048	6.2	18	4,834	3,717	76.9
プライベートセール	602,238	309.1	562,396	357.4				
その他	25,827	△63.8	31,542	△44.4				
オークション関連 その他事業合計	628,065	187.4	593,939	230.5				
オークション関連事業合計	2,554,333	35.7	988,987	79.3				

- (注) 1. 取扱高の前年比率と売上高の前年比率の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に当社の売上高を構成する要素であり、当社の在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。
2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。
3. オークション関連事業の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期連結会計期間別の業績には季節の変動があります。

i) オークション事業

当第3四半期連結累計期間は、近代美術オークション及び近代美術Part IIオークションを各4回、近代陶芸オークション及びBags/Jewellery&Watchesオークションを各3回、ワインオークションを2回、西洋美術オークション及び戦後美術&コンテンポラリーアートオークションを各1回開催し、合計で18回のオークションを開催しました。

近代美術オークションは、前年比で出品点数7.3%増、落札点数9.5%増と増加しました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率は平均124.4%と推移し、平均落札単価は前年比で3.2%増と増加に転じました。

近代陶芸オークションは、前年比で出品点数17.1%減、落札点数16.1%減となりましたが、古美術の取り扱いが引き続き好調であったことから、平均落札単価は前年比で15.1%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率も平均で180.1%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、前年比で出品点数2.4%減、落札点数1.9%減となりました。平均落札単価は前年比で19.9%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率は平均136.4%で推移いたしました。

その他、ワインオークションも引き続き好調を保っており、前年同期間の実績を大きく上回りました。

ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、当第3四半期連結累計期間において、画廊事業を専門とする100%子会社としてShinwa Prive株式会社を設立し、お客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整え、積極的な取り扱いに努めました。また、これまで当社グループが培ってまいりました富裕層ビジネスから、シンワダイヤモンド倶楽部を発足させ、資産防衛のためのダイヤモンド販売を開始いたしました。「金からダイヤモンドへ」の浸透には当初の予想よりも時間を要し、当初の売上計画を下回ったものの、全体では、前年同期間比で、取扱高、売上高とも大幅に増加いたしました。

②エネルギー関連事業

50kW級の低圧型太陽光発電施設の販売事業に関しましては、電力会社の系統連系が確実に可能な案件の厳選と仕入れに時間を要し、当第3四半期連結累計期間は17基の販売実績に止まりました。が、引き続き50kW級の優良な発電施設への購入需要が旺盛に続く中、仕入案件につきましては、昨年末頃より順次確保できており、当連結会計年度中に販売する見込みのものは、現時点で数十基あります。自社保有の太陽光発電施設による売電事業の売上は順調に推移しました。その他、マレーシアにおけるPKS事業では、当第3四半期連結会計期間に出荷を開始し、約1万トンのPKSの出荷を完了しました。

以上により、当第3四半期連結累計期間は、売上高545,101千円（前年同期間比67.0%減）、セグメント損失167,807千円（前年同期間は87,669千円のセグメント利益）となりました。

③その他

当第3四半期連結累計期間より参入したウェルスマネジメント分野における米国テキサス州の中古不動産物件紹介事業は、現地の税制及び経済状況、不動産事情が日本では殆ど知られておらず、キャピタルゲインが享受できる収益物件であることを浸透させることに当初の想定よりも大幅な時間を費やし、また購入時の融資付けにも時間を要したため、販売件数、利益率ともに当初計画から大きく出遅れる結果となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,572,556千円（前年同期間比28.8%減）、営業損失222,193千円（前年同期間は67,712千円の営業損失）、経常損失268,518千円（前年同期間は112,760千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失226,348千円（前年同期間は100,808千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、5,314,547千円となり、前連結会計年度末と比べ1,117,663千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少200,627千円、オークション未収入金の減少111,922千円と売掛金の減少1,857,472千円と前渡金の増加656,201千円、商品の増加381,558千円、流動資産のその他の増加58,269千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,378,806千円になり、前連結会計年度末に比べ1,043,047千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少229,439千円、短期借入金の減少699,535千円と社債の増加（1年内償還を含む）150,000千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,935,741千円になり、前連結会計年度に比べ74,615千円減少いたしました。その主な内訳は資本金の増加81,692千円、資本剰余金の増加82,648千円と利益剰余金の減少270,010千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案した結果、平成29年7月14日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年4月12日）公表いたしました「平成30年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,433	1,416,805
売掛金	1,957,424	99,952
オークション未収入金	134,285	22,363
商品	884,064	1,265,623
前渡金	95,777	751,978
その他	337,908	396,177
貸倒引当金	△453	△77
流動資産合計	5,026,441	3,952,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,344	5,072
機械装置及び運搬具(純額)	979,832	930,917
土地	122,760	120,760
その他(純額)	10,401	12,561
有形固定資産合計	1,116,339	1,069,311
無形固定資産		
ソフトウェア	4,441	13,736
無形固定資産合計	4,441	13,736
投資その他の資産		
関係会社株式	102,657	60,599
その他	196,251	231,932
貸倒引当金	△13,921	△13,856
投資その他の資産合計	284,988	278,675
固定資産合計	1,405,769	1,361,724
資産合計	6,432,210	5,314,547
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,855	57,628
オークション未払金	274,696	45,256
短期借入金	2,226,035	1,526,500
1年内償還予定の社債	-	44,000
1年内返済予定の長期借入金	287,972	263,172
未払法人税等	6,201	67,492
賞与引当金	42,094	6,663
役員賞与引当金	57,255	11,724
その他	257,940	189,213
流動負債合計	3,272,049	2,211,651
固定負債		
社債	-	106,000
長期借入金	334,584	291,205
退職給付に係る負債	46,600	32,400
長期割賦未払金	611,304	570,859
その他	157,315	166,689
固定負債合計	1,149,803	1,167,154
負債合計	4,421,853	3,378,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	987,181	1,068,873
資本剰余金	592,464	675,113
利益剰余金	650,576	380,565
自己株式	△223,655	△221,063
株主資本合計	2,006,566	1,903,489
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,035	2,657
その他の包括利益累計額合計	△2,035	2,657
新株予約権	3,616	3,495
非支配株主持分	2,210	26,099
純資産合計	2,010,357	1,935,741
負債純資産合計	6,432,210	5,314,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	2,207,153	1,572,556
売上原価	1,604,419	968,786
売上総利益	602,734	603,770
販売費及び一般管理費	670,446	825,964
営業損失(△)	△67,712	△222,193
営業外収益		
受取利息	435	304
未払配当金除斥益	68	137
デリバティブ評価益	3,222	2,023
貸倒引当金戻入額	227	440
法人税等還付加算金	-	1,423
その他	1,231	956
営業外収益合計	5,184	5,285
営業外費用		
支払利息	23,422	25,442
支払手数料	26,309	21,190
為替差損	-	4,918
その他	501	57
営業外費用合計	50,232	51,609
経常損失(△)	△112,760	△268,518
特別利益		
退職給付引当金戻入額	-	1,320
新株予約権戻入益	1,592	-
特別利益合計	1,592	1,320
特別損失		
固定資産除却損	-	680
減損損失	-	8,271
事務所移転費用	-	12,299
投資有価証券評価損	9,055	-
特別損失合計	9,055	21,250
税金等調整前四半期純損失(△)	△120,223	△288,448
法人税、住民税及び事業税	18,989	64,413
法人税等調整額	△38,070	△124,991
法人税等合計	△19,080	△60,578
四半期純損失(△)	△101,142	△227,870
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△334	△1,522
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,808	△226,348

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純損失(△)	△101,142	△227,870
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	423	4,335
その他の包括利益合計	423	4,335
四半期包括利益	△100,719	△223,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,564	△221,656
非支配株主に係る四半期包括利益	△155	△1,879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により発行済株式総数が309,000株増加いたしました。また自己株式の処分10,000株を行いました。これらにより資本金が81,692千円増加、資本剰余金が82,648千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,068,873千円、資本剰余金が675,113千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

持株会社体制への移行

当第3四半期連結累計期間において、当社は平成29年12月1日付で持株会社体制へ移行し、同日付で商号を「Shinwa Wise Holdings株式会社」に変更いたしました。
また、当社のオークション関連事業を、当社の完全子会社であるShinwa Auction株式会社に承継させ、当社は持株会社としてグループ会社の経営管理を担うことといたしました。

連結の範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、Shinwa Prive株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、持株会社体制への移行準備の一環として、分割準備会社として当社100%出資のShinwa Auction株式会社を新たに設立したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

Shinwa Prive株式会社及びShinwa Auction株式会社は、オークション関連事業のセグメントに属しております。

その他、Shinwa APEC Malaysia Sdn. Bhd. 及びShinwa Microfinance Co., Ltd. の重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めることといたしました。

Shinwa APEC Malaysia Sdn. Bhd. はエネルギー関連事業に、Shinwa Microfinance Co., Ltd. はその他事業のセグメントに属しております。

当社の子会社の商号変更

当社の連結子会社は、平成29年12月1日付で下記のとおり、商号変更をしております。

当社との関係	旧商号	新商号
連結子会社	エーペック株式会社	Shinwa ARTEX株式会社
連結子会社	Jオークション株式会社	Shinwa Market株式会社

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	551,580	1,651,434	2,203,015	4,137	2,207,153
セグメント利益 又は損失(△)	△154,337	87,669	△66,667	△1,044	△67,712

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	988,987	545,101	1,534,088	38,468	1,572,556
セグメント利益 又は損失(△)	△60,500	△167,807	△228,308	6,114	△222,193

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり海外不動産事業、医療機関向け支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,271千円であります。